



かわら版

最上小国川流水型ダム



平成29年4月号

第23号

平成29年4月27日発行

【発行元：前田・飛島・大場JV】

ごあいさつ

すっかり雪も解け、やっと春らしいあたたかい季節となってきました。花の便りが各地から届き、心浮き立つようなこの頃ですが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

新年度が始まり、当作業所に新しい職員が加わりました。作業員も増員し、冬期に休止していた作業を再開しています。

今年度はダム本体のコンクリート打設が本格的になります。引き続き、安全・品質・環境を優先した作業を進めて参りますので、皆さまのご理解とご協力をお願い致します。



現在のダムサイト

工事進捗状況

4月よりダム本体のコンクリート打設を再開しました。今年度は、ダムサイトの河床部から順次打ち上げていきます。打設も本格的になるため打設設備も大きなものを使用しています。

コンクリートは、ダムサイト左岸天端の BATCH PLANT でコンクリートを製造し、左岸天端から打設箇所へは、一度に3m³のコンクリートをコンクリートバケットに入れて、200tクローラークレーンにて運搬します。一日で最大500m³以上のコンクリートを打設します。

(写真右上：200tクローラークレーンにて3m³コンクリートバケットを運搬する様子)

(写真右下：打設箇所。コンクリートバケットから3m³コンクリートを放出している様子)



4月の出来事

災害時支援協定締結

舟形町と災害時の支援協定を結び、4月25日に舟形町役場にて調印式を行いました。この協定は集中豪雨や地震などの災害が発生した場合に、人命救助や被害拡大防止、応急活動に必要な人員や機材をJVが提供するというものです。

最上町ともこの協定を結んでおり、これまでも豪雨災害時には赤倉地区の冠水した側溝からの排水作業などを行ってきました。舟形町ともこの協定を結び、安全で安心な地域づくりのためにお役に立てるよう、より一層努めて参ります。



調印式の様子(舟形役場にて)
左:当JV所長 桑野、右:森 舟形町長

JV職員紹介



氏名:益子 優輝(マシコ ユウキ)
所属:前田建設工業(株)
出身地:栃木県 現住所:岩手県
今までトンネル現場に従事してきました。今回ダムは初めてですが、地元のためにも精いっぱい頑張ります。趣味はクラリネットを演奏することです。
よろしくお願いします。

発注者:山形県最上総合支庁
施工者:前田・飛島・大場JV
連絡先:〒999-6105
山形県最上郡最上町大字富澤
字菅ノ平3780-1
TEL 0233-46-3430
FAX 0233-46-3431
ホームページ
<http://mogamiogunigawa-jv.jp/>

安全・品質・環境を優先した作業を行っていきます。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力、よろしくお願いいたします。ご意見、ご感想などがありましたら、気軽にお声を掛けてください。